

令和3年度

奈良市立看護専門学校

一般入学試験問題

国語

試験時間 50 分（問題 1～18）

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで問題を開いてはいけません。
2. 机には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
3. 係員の指示に従って、下欄及び解答用紙に受験番号と氏名を記入し、解答用紙の受験番号欄をマークしてください。
4. 解答方法：選択肢(1～5)から**正解を一つ選び**、解答用紙の解答欄の該当番号をマークしてください。2つ以上マークした場合には誤りとなります。
5. マークは解答用紙の「マークの方法」の「良い例」のように濃く、はっきりと塗りつぶしてください。「悪い例」では採点されない場合があります。
6. 試験中に問題の印刷不鮮明等に気付いた場合は、手を挙げて係員に知らせてください。なお、問題の内容に関する質問にはお答えできません。
7. 問題の余白はメモ等に使用して構いません。
8. この問題冊子は回収します。持ち帰らないでください。

受験番号

--	--	--

氏名

--

第1問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

文章を作る上の用意として、我々の日常心がくべき(注1)三つの方法がある。それは読書と観察と思索とである。

この三つの方法は、いずれを前にし、いずれを後にするという順序はない。最も理想的なことは、この三つの方法が相交錯して纏った効果をあげることである。

ここに数えなかった方法に、経験がある。これは最も重大であって、実際の人生から得るその力は、文章の上に甚大な影響を与えるのである。しかし実際の人生から得る経験は、好んで為す場合よりも遙かに多く別種の力(境遇といってもいい)によって、我々の所期以外の経験を味わしめる場合がある。と同時に限られた我々の力では、(ア) 何もかも味わいつくすというわけにいかないのである。そればかりか、若い人々にとっては、経験はあまりに生々しく不秩序的に見えることさえ多い。これを冷静に批評し得るほどの観察力(イ) 観照力は、長い月日の間に、遅々として獲得するよりほかに方法はない。㉑

ここに初めて読書するということが有効になって来る。それは経験に直接即するよりも、遙かに秩序的であり組織的であるからである。更に詳しく述べれば、我々は読書の中に、自分の無し得ない多くのそして未知の経験と、発見し得ない真理と、さまざまなる知識、力、推移とを、知りかつ味わうことが出来るからである。㉒

人間の知識的生長(注2)は、いうまでもなく最も個人的である。従って一定の規矩(注3)を以て、その生長を制限することは、極めて愚かしい事である。殊に才能の点において特殊的なる文学方面は、それが一層甚だしいといわねばならない。

(ウ)、最も妥当なる順序は、我々の現在生息しつつある現代の文学書(論集、小説、詩歌のいずれを問わず)に親しみ、次第に過去時代の産物に遡ることを以て、効果多い方法と信ずる。たとえばルソーの『懺悔録』あたりから、近代精神の何ものであるかを知って、更に我々の時代に近いものを知るもいいであろう。

いかに読むかという問いに対しては、余は広く浅く読むよりも、狭く深く読む方をすすめたい。勿論広く読むことも必要である。然し、(エ) 深く心によって読むことの方が遙かに必要である。

観察は読書に比してやや困難である。それはその対象が常に流転し変化するからである。たとえば自然の風物に対しても、そこには日毎に、というよりも時毎に微妙な変化、推移が行われるし、周囲の出来事を眺めても、ともすればその真意を掴み得ないうちにそれがぐんぐん経過するからである。しかし観察は、広い意味の経験の範囲内で、比較的冷静を保ち得る経験の一つである。㉓

我々は日常触目する事を物々に対して、精細に見ることを努めはじめるといい。議論よりも実際に就くべき問題である。

思索は、書物からも獲られるし、実際の人生からも獲られる。

(オ) 書物からの場合は、いずれかといえば冥想的であるが、実際からの場合は暗示的である。殊に後者の場合は、前に述べた観察と錯綜し纏綿する(注4)。㉔

思索の分野は、実に無限である。人生自然の零細な断片的な投影に過ぎないものでも、それは我々の注意力如何によって極めて微妙な思想へまで導いてゆくものである。

読むことから、そして見ることから、我々の随時に獲たあるものに対して、統一を与え組織を与えるものは、実に思索の賜物である。

文章を作るまでの用意については、大体を尽したと思う。そこで、今諸君に望むところは、大

胆に試みよということだ。㉔

一日の生活のある一片を捉えるのもいいし、ある感情の波動を述べるのもいいし、ある思想に形を与えるのもいいし、人と人との会話のある部分を写すのもいいと思う。

一つよりも十の習練である。十の習練よりも二十の習練である。(カ) 初めから文章のうまみとか華やかさを^{こいねが}希ってはならない。明瞭に考え、正しく見て我々は進んでゆくべきである。更にどこまでも誠実な態度をとること、物のあるがままの姿に即すことを怠ってはならない。

(小川未明「文章を作る人々の根本用意」による)

(注) 1心がかくべき：心がかけるべき 2生長：成長 3規矩：規則 4纏綿する：からみつく

問題1 次の文は本文の一部である。㉑～㉔のうち最も適当な挿入場所はどこか。一つ選択せよ。

「それならば、我々はどういう書物を、どういう風に読んだらいいか、という問いが起る。」

- 1 ㉑ 2 ㉒ 3 ㉓ 4 ㉔ 5 ㉕

問題2 下線部(ア)「何もかも味わいつくすというわけにいかないのである」とあるが、それはどのようなことを意味しているか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 限られた人生の中で、あらゆる経験を積むことは不可能である。
- 2 自分では望まないような嫌なことまで経験する必要はない。
- 3 文章を作る上では読書と観察と思索も大切であり、経験に偏り過ぎるのは好ましくない。
- 4 予期していなかった経験によって、好んで経験したことの意義が半減する。
- 5 経験することすべてについて、その意味や趣旨を深く考えつくすことはできない。

問題3 下線部(イ)「観照力」は本文中でどのような意味で用いられているか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 過不足をなくして、つり合いのとれた状態にする力
- 2 他人を自分の意思に従わせようとする力
- 3 過去の自分に照らし合わせて考える力
- 4 主観を交えずに物事を冷静にみつめる力
- 5 日常生活から文章の題材を発見する能力

問題4 空所(ウ)に入る最も適当な語句を一つ選択せよ。

- 1 そこで
- 2 また
- 3 ところで
- 4 なぜなら
- 5 しかしながら

問題5 下線部(工)「深く心によって読むことの方が遙かに必要である」とあるが、筆者がそう考える理由として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 現代から過去にまで読書の対象を広げると、その数が多すぎ読み切れないから。
- 2 読書の対象を絞り物事の奥底まで突き詰める方が、知識や力の獲得に効果的であるから。
- 3 読書は主人公と心を通わせることにより、その人生を疑似体験することができるから。
- 4 本の内容をよく吟味し、対象を良書に絞り込んだ方が、効率的な読書ができるから。
- 5 丁寧に文章を解釈することで、冷静さを保ちながら変化を感じ取ることができるから。

問題6 下線部(オ)「書物からの場合は、いずれかといえば冥想的であるが、実際からの場合は暗示的」とあるが、それはどのようなことを意味しているか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 書物は作り話のようであるが、実際の人生は様々なヒントを与えてくれる。
- 2 書物の体験談はイメージしやすいのに対して、実際の体験は暗示のようで理解しにくい。
- 3 書物から得られる思索は抽象的であるのに対して、実体験からの思索は具体的である。
- 4 書物の内容は静的であるが、実際の経験は時間とともに変化する動的なものである。
- 5 書物が表しているのは世間の共通認識であるが、人生から得るものには個人差がある。

問題7 下線部(力)「初めから文章のうまみとか華やかさを希ってはならない」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 文章のうまみとか華やかさは、プロの文筆家でなければ意図して出せるものではないから。
- 2 ものがあるがままの姿に即して描写することと、文章をうまく書くことは両立しないから。
- 3 習練を積まずに文章のうまみを出そうとすると内容の正しさや誠実さが損なわれるから。
- 4 日常生活や他人との会話など華やかではない題材の方が文章の上達には役立つから。
- 5 文章を作るにあたって心がけてきた読書、観察、思索、経験が無駄になってしまうから。

問題8 a～dのうち、本文の内容と合致するものの組み合わせとして正しいものを一つ選択せよ。

- a 読書の面白さは、自分ではできない未知の経験を味わえる点などにある。
- b 文章を作る上の用意として、読書、観察、思索、経験の4つの方法が必要とされ、それぞれの重要性に差異はない。
- c 読んだり見たりしたものを関連づけて、一つのまとまった仕組みを作りあげることが思索の重要な役割である。
- d 良い文章を書く人は、皆多くの習練を積み、ここに書かれている方法を実践した人である。

- 1 aとb 2 aとc 3 bとc 4 bとd 5 cとd

第2問 次の各問いに答えよ。

問題9 下線部の漢字の読み方が正しいものを一つずつ選択せよ。

- (1) 1 倒産の経緯が如実(じょじつ)に描かれている。
- 2 彼の作品は散逸(さんめん)してしまっている。
- 3 これは、今展覧会のなかでも傑出(そうしゅつ)した作品と言える。
- 4 展示されている彫塑(ちょうぞう)を鑑賞する。
- 5 恩師から薫陶(くんとう)を受けた。

- (2) 1 他の追隨（ついでい）を許さない。
2 その条約は国会で批准（ひすい）された。
3 同世代で鬼籍（おにせき）に入る人が多くなってきた。
4 交際相手の素行（すぎょう）を調べる。
5 歴史を回顧（かいそう）する。
- (3) 1 家計の出納（しゅつノウ）を管理する。
2 状況は逐次（ちくいち）連絡せよ。
3 詳細は所轄（しょかん）の警察署にお尋ねください。
4 漁師が投網（とうもう）を打つ。
5 老舗（しにせ）ののれんを守る。

問題 10 下線部の漢字が正しいものを一つずつ選択せよ。

- (1) 1 彼がリーダーになることを異句同音に賛成した。
2 大義名文が掲げられた。
3 病人を介包する。
4 急に焦燥感に駆られた。
5 被害を最少限に抑える。
- (2) 1 本末転当な結果になる。
2 序幕式に招待される。
3 事態は収束に向かった。
4 友人との価値感の違いに悩む。
5 今回の辞令は、まさに晴天^{へきれき}の霹靂であった。
- (3) 1 温古知新の精神で歴史を学ぶ。
2 火が森に燃え広がる前に火災を鎮火させた。
3 切端詰まって、彼は言い訳を並べた。
4 彼らは一身同体になって働いている。
5 彼と友人になったことも袖振り合うも多少の縁なのだろう。
- (4) 1 不当な処分に対して、診査を請求した。
2 差し触りのあることを言う。
3 彼女は万雷の拍手に迎えられた。
4 彼は優れた功積を残した。
5 会長への就任を固持する。

問題 11 次の下線部と同じ漢字を使うものを一つずつ選択せよ。

- (1) 上告をキ却する。
- 1 この俳句にはキ語がない。
2 奥の細道はキ行文である。
3 彼は本番で実力を発キできない。
4 奮キして勉強した結果、良い点数をとることができた。
5 自分の権利を放キする。

(2) 試合の敗者が現在の心キョウについて語った。

- 1 大きな船が海キョウを通過した。
- 2 友人に家族の近キョウを伝える。
- 3 異なる学区の中学校に越キョウ入学させた。
- 4 この新しくできた鉄キョウは世界一長い。
- 5 一部にはキョウ量な考え方をする人もいる。

(3) 法案の廃止をセイ願する。

- 1 許可を申セイする。
- 2 入院して安セイにする。
- 3 負けそうになり、加セイを求める。
- 4 果物がセイ熟する。
- 5 実家に帰セイする。

問題 12 次のうち「横柄」の同意語として正しいものを一つ選択せよ。

- 1 尊大 2 無礼 3 謙虚 4 健気^{けなげ} 5 非行

問題 13 次のうち「簡潔」の反意語として正しいものを一つ選択せよ。

- 1 困難 2 乱雑 3 不潔 4 特殊 5 煩雑

問題 14 次の語句の意味として正しいものを一つずつ選択せよ。

(1) エキスパート

- 1 相手となる敵がいなほど強い人のこと。
- 2 ある分野で訓練や経験を積み、高度な技能や知識をもった人のこと。
- 3 すがた形や色・音などが優れていて、心を奪われるような人のこと。
- 4 共同で仕事をするときの相手のこと。
- 5 映画などで、通行人や群衆などを演じる臨時雇いの出演者のこと。

(2) ウィット

- 1 よく考えて心をくばること。
- 2 すぐれて深い知恵のこと。
- 3 ある物事について認識し、理解していること。
- 4 時と場合に応じて、とっさに気のきいたことを言ったりしたりできる才知のこと。
- 5 ある物事をうまくなしとげる、すぐれた能力のこと。

問題 15 次の言葉の意味として正しいものを一つずつ選択せよ。

(1) 烏合^{うごう}の衆

- 1 ただ寄り集まっただけで、なんのまとまりもない人々のたとえ。
- 2 頭の中で考えただけの理屈で、現実には役に立たない理論のこと。
- 3 人がさっぱり集まらずものさびしいようす。
- 4 集団の中心となって主導権を握ること。
- 5 多人数に少人数が立ち向かっても勝ち目はないこと。

(2) 春秋に富む

- 1 シャベることも、することも、おおいに達者である。
- 2 すぐれた才知と美しい容色とを併せ持っている。
- 3 若くて、将来が希望に満ちている。
- 4 いろいろなものそれぞれには、さまざまな相違や差異がある。
- 5 はかり知れないほど深く身にしみて感じる。

(3) 千載一遇

- 1 二度と出会うことがないだろうと思われる、またとない絶好の機会。
- 2 一生にただ一度の貴重な出会いであるということ。
- 3 すばらしい物や幸運を自分のものにする。
- 4 金銭や幸運などは、かわるがわる誰にでもめぐってくる。
- 5 悪いうわさはたちまち広まるということ。

問題 16 次の意味を表す言葉として正しいものを一つずつ選択せよ。

(1) 持続可能である様子。

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1 リーズナブル | 2 サステナブル | 3 プライオリティ |
| 4 コンセンサス | 5モチベーション | |

(2) いい加減なことを言ったりしたりして、適当にその場をごまかす。

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1 お茶を濁す。 | 2 二枚舌を使う。 | 3 知恵が回る。 |
| 4 口車に乗せる。 | 5 一杯食わず。 | |

(3) 心に何のわだかまりもなく、平静な態度で事にのぞむこと。

- | | | |
|------------------------|--------|--------|
| 1 温厚篤実 | 2 安穩無事 | 3 外柔内剛 |
| 4 虚心坦懷 ^{たんかい} | 5 極楽往生 | |

問題 17 下線部の言葉の使い方が正しいものを一つ選択せよ。

- 1 犯人の自白で事件が明るみになった。
- 2 彼女とは数えられるほどしか会っていない。
- 3 不況で会社が倒産して苦渋をなめる。
- 4 彼は押し出しが強いので交渉役に向いている。
- 5 彼の一言が火に油をつぐ結果となった。

問題 18 次の記述に当てはまる人物の名前として正しいものを一つ選択せよ。

この人物は、早くから平安朝文学に親しみ、「よしあし草」などに短歌を発表していたが、歌集「みだれ髪」を発表すると、その奔放な空想力と激しい情熱とによって明治浪漫主義に新紀元を画した。主な作品として「新訳源氏物語」「小扇」「夏より秋へ」「白桜集」などがある。

- | | | |
|---------|--------|--------|
| 1 樋口一葉 | 2 北原白秋 | 3 石川啄木 |
| 4 与謝野晶子 | 5 室生犀星 | |

以上